

## 平成 25 事業年度

# 公益財団法人周南市ふるさと振興財団事業報告

「市民自らが行う地域づくり活動の振興」を目的として設立された、全国でも数少ない「ふるさと振興を使命とする財団」である。平成 25 事業年度からは「公益財団法人周南市ふるさと振興財団」として、すべての事業を公益事業として進めてきた。

地域で支え合い、助け合う「絆」が改めて見直される中、課題の解決や特色を活かした個性的なふるさとづくりに取り組むコミュニティの重要性が高まっており、財団にはコミュニティ活動支援の中核として、より大きな役割を果たしていくことが求められている。

平成 25 事業年度は、前年度調査した周南市の 31 地区コミュニティ推進組織の活動内容等を基に抽出した共通課題「若者参画・情報提供・組織・他地区交流」の課題解消に向け取り組んだ。特に若者参画では、「地域の若者参画推進プラン」を作成し、現状調査や若者同士の交流等に取り組んだ。

また、地域資源である地場産品や、指定管理者として管理運営を行う公共施設を活用したふるさとづくり活動の振興にも、コミュニティとの関連性の強化を目指しながら、引き続き取り組んだ。

# I 市民が輝くふるさとづくり

決算 1,939,138 円  
(予算 2,508,000 円)

市民一人ひとりが、地域コミュニティ活動やテーマ型の市民活動の担い手として、自主的・主体的に参加するふるさとづくりを支援することで、魅力あるふるさとづくりを目指した。

主な事業費		主な財源
印刷製本費	205,000 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入金
負担金補助及び交付金	982,050 円	
通信運搬費・消耗品 等	752,088 円	

1 コミュニティ（地縁型） 決算 1,474,622 円 (予算 1,883,000 円)

## ① コミュニティ情報の提供

決算 13,188 円  
予算 20,000 円

### ふるさとづくり推進プランII「五感で感じるふるさと周南」 P6

幅広い年齢層に周南市のコミュニティ活動情報やコミュニティ組織の必要性等を発信していくため、ホームページを活用した情報提供を行うとともに、コミュニティ情報局において紙面での情報提供を行った。また、周南市市民交流センター内の空きスペースや多目的広場を利用して、各地区コミュニティ組織の活動報告等を掲示し、市民へ情報提供を行った。

#### ◎ コミュニティホームページの運営

ホームページアドレス : <http://gokan-furusato.org/community/community.html>

- ・ Facebook を活用したリアルタイムな情報発信
- ・ 各地区コミュニティに活動情報提供者をお願いしてタイムリーにホームページを更新
- ・ 財団独自で地区の特色あるもの（自然・文化・歴史等）を情報収集し、掲載（周南市市民交流センター内にも写真掲示）
- ・ 各地区の共通行事・名所（どんど焼き・桜の名所）を情報収集し、掲載
- ・ 訪問者数 月約 20,600 人（前年度 月約 11,500 人）  
(HP 月約 17,000 人 FB 週 3 掲載×300 人×4 週=3,600 人)



#### ◎ コミュニティ情報局の運営

- ・ コミュニティイベントチラシの掲示・配布
- ・ コミュニティ誌・公民館報の配布・バックナンバーの閲覧

#### ◎ 周南市市民交流センターの多目的広場等を活用した情報提供

- ・ 各地区コミュニティ組織の活動・名所等の掲示



〔公益目的事業1 (1) コミュニティ活動（地縁型）の支援 エ. コミュニティ活動に関する情報の収集と発信〕

主な事業費		主な財源
事務用品	13,188 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入金

## ② 先進地視察

決算	259,900 円
予算	377,000 円

### ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P6

ふるさとづくりに関する調査研究として、コミュニティ活動実践者及びふるさと応援隊を対象に周南市外の先進地の手段・手法を五感で感じることで更なる地域の活性化を図った。

- ◎ 期日 平成 26 年 3 月 8 日(土)～9 日(日)
- ◎ 場所 岡山県津山市・鳥取県鳥取市鹿野町
- ◎ 参加者 8 地区コミュニティ推進協議会等より 25 名
- ◎ 内容 岡山県津山市では、B 級グルメの視察と、町並み保存の取り組みを中心に、参加者それぞれにルートを決めてもらった。2 日目の鳥取県鳥取市鹿野町では、地元のまちづくり協議会を中心とした古い町並みを活かした景観整備と地域活性化についての視察及び研修を行った。



〔公益目的事業 1 (1) コミュニティ活動 (地縁型) の支援 イ. 周南市コミュニティ推進連絡協議会に対する支援〕

主な事業費		主な財源
バス借上料	211,900 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入金
事務用品 等	48,000 円	

## ③ 特色あるコミュニティ活動への支援

決算	521,298 円
予算	522,000 円

### ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P6

市民自らが行う地域づくり活動を推進するため、個性あるふるさとづくり活動を行うコミュニティ団体を広く公募することにより、コミュニティ活動への支援を実施した。(審査に関しては平成 24 事業年度に実施)要綱により 2 年継続で助成できることから平成 24 年度選定された団体に対しても助成を行った。

#### ◎ 継続助成対象事業実績 (助成 100,000 円)

##### ア 徳山小学校区の「盆踊りの開催 (復活)」

- ㊦ 実施団体 徳山小学校区コミュニティ推進協議会
- ㊧ 実施場所 中央地区公民館・青空公園・徳山小学校等
- ㊨ 内 容 盆踊り (徳山市民ばやし) の復活
- ㊩ 総事業費 548,912 円
- ㊪ 助成金額 100,000 円



##### イ 岐山地区今昔物語

- ㊦ 実施団体 岐山地区コミュニティ推進協議会
- ㊧ 実施日 平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日
- ㊨ 内 容 岐山地区の歴史を纏めた写真集の編纂
- ㊩ 総事業費 545,500 円
- ㊪ 助成金額 100,000 円



◎ 平成 25 年度募集【平成 24 事業年度実施】

ア 期 間 平成 25 年 1 月 17 日（木）～2 月 21 日（木）

イ 周知方法 周南市コミュニティ推進連絡協議会総会時説明、各地区会長宛に案内送付

ウ 申請件数 3 件

◎ 審査委員会【平成 24 事業年度実施】

ア 期 日 平成 25 年 3 月 14 日（木） 18:30～20:00

イ 場 所 周南市市民交流センター

ウ 審査委員 8 名（学識経験者 2 名、周南市地域振興部長、コミュニティ推進課長、理事 2 名  
評議員、事務局長）

エ 内 容 申請者による事業説明（プレゼンテーション）と質疑応答をもとに、審査委員が事業  
の先駆性・問題提起・効果等 10 項目について 5 段階で採点を行い、審査委員で協議  
し、助成対象事業 3 件を決定した。

◎ 助成対象事業実績

ア 福祉の啓発事業

㊦ 実施団体 勝間コミュニティ推進協議会

㊧ 実施日 平成 25 年 7 月 29 日（月）・12 月 15 日（日）

㊨ 内 容 福祉施設への視察及び認知症予防講演の開催

㊩ 総事業費 204,936 円

㊪ 助成金額 100,000 円



イ 第 20 回三丘徳修館まつり

㊦ 実施団体 “ほっと三丘” コミュニティ協議会

㊧ 実施日 平成 25 年 11 月 17 日（日）

㊨ 内 容 記念イベントの実施

㊩ 総事業費 366,125 円

㊪ 助成金額 100,000 円



ウ 地区出身のアスリートに学ぼう

㊦ 実施団体 遠石地区コミュニティ推進協議会

㊧ 実施日 平成 25 年 10 月 19 日（土）

㊨ 内 容 同校出身のアーティストを招いての講演

㊩ 総事業費 211,536 円

㊪ 助成金額 100,000 円



◎ 平成 26 年度募集

ア 期 間 平成 26 年 1 月 10 日（金）～2 月 7 日（金）

イ 周知 各地区会長宛に案内送付

ウ 申請 3 件

◎ 審査委員会

ア 期 日 平成 26 年 3 月 13 日（木）18:30～20:00

イ 場 所 周南市市民交流センター

ウ 審査員 8 名（学識経験者 1 名、周南市地域振興部長、コミュニティ推進課長、理事 3 名  
評議員、事務局長）

エ 内 容 申請者による事業説明（プレゼンテーション）と質疑応答をもとに、審査委員が事業  
の先駆性・問題提起・効果等 10 項目について 5 段階で採点を行い、審査委員で協議  
し、助成対象事業 3 件を決定した。

◎ 助成対象事業

ア 朝市「縁 じょい!ヶ丘」

- ㊦ 実施団体 桜木地区コミュニティ推進協議会
- ㊧ 実施内容 朝市を通じた安心安全のまちづくりに向けた取り組み
- ㊨ 総事業費 285,000 円
- ㊩ 助成金額 100,000 円

イ 湯野地域における観光資源の環境整備

- ㊦ 実施団体 湯野地区コミュニティ協議会
- ㊧ 実施内容 案内看板や駐車場などの環境整備
- ㊨ 総事業費 200,000 円
- ㊩ 助成金額 100,000 円

ウ 夜市 discovery! プロジェクト

- ㊦ 実施団体 夜市地区コミュニティ推進協議会
- ㊧ 実施内容 地域資源の再発見及びマッピングを行い、老朽化した案内看板を更新する
- ㊨ 総事業費 170,000 円
- ㊩ 助成金額 85,000 円

〔公益目的事業 1 (1) コミュニティ活動（地縁型）の支援 ア. 特色あるコミュニティ活動への助成〕

主な事業費		主な財源
コミュニティ活動助成金	500,000 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入金
審査委員謝金 等	21,298 円	

③② コミュニティコーディネート事業

決算	234,497 円
予算	348,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P7-①

各地区コミュニティの活動内容について聞き取り調査を基に活動の現状を分析し、共通課題（若者参画・情報提供・組織・他地区交流）の洗い出しを行った。若者参画に関しては推進プランを作成し、若者による地域づくり団体の聞き取り調査や交流の場を設定し事業を進めていった。その他の共通課題については、相談対応・地区ごとの提案により課題解決に向けて進めていった。また、周南市と共催で要望のある地区に地域づくりのアドバイザー派遣（3地区）や助成金獲得講座（全市民対象/参加者10名）等を開催した。

◎ 各地区の活動内容の分析と共通課題の洗い出し

◎ 若者参画推進プラン

- ア 地域で活躍する若者グループの現状調査（長穂青年部・Tengoo・Team376・桜田会）
- イ 地域で活躍する若者グループの交流（木村理事長出席）
  - ・ 期日 平成25年12月9日（月）19:00～21:00
  - ・ 場所 周南市内
  - ・ 参加 9地区25名
- ウ 情報収集・提供  
Facebook上にグループを作り情報交換を開始（26名参加）
- エ 人的相互支援
  - ・ 和田のイベントに中須の若者が応援
  - ・ 三丘の活動に戸田・長穂の若者が応援



- オ 周南市コミュニティ推進連絡協議会の事業への参加促進
  - ・ 交流集会・若者参画事業へ個別案内
- カ 地域で活躍する若者グループの相談対応
- キ 若者を地区活動へ参加してもらうための相談対応・動き等
  - ・ 徳山小学校区会長が相談
  - ・ 三丘公民館主事が相談
  - ・ 夜市の若者よりグループ設立の相談（H26 結成予定）



◎ 各地区の総会・活動の視察

三丘・勝間・大河内地区総会、和田クイーン祭・餅-1 グランプリ・湯野浴衣まつり・中須ほたと浴衣の夕べ・戸田地引網等

◎ 助成金獲得講座

- ア 期日 平成 25 年 12 月 14 日（土） 10:00～12:00
- イ 場所 周南市市民交流センター
- ウ 参加 10 名



◎ 周南市地域振興部コミュニティ推進課との連携

- ア 地域づくり支援アドバイザー派遣制度（鹿野・岐山・須金）
- イ 地域づくり講座（4回）

◎ 公民館主事会への参加

各地区組織の事務局はおおよそ公民館主事であることから主事への挨拶と財団事業の説明



◎ 公民館主事からの組織に対する相談対応（随時）

三丘地区の定住事業・PR映像、久米地区のPR映像等

◎ 各地区組織からの相談対応（随時）

遠石地区・秋月地区の組織の課題、徳山小学校区の若者参画等

〔公益目的事業 1 (1) コミュニティ活動（地縁型）の支援 ウ. コミュニティ推進組織の交流と相互支援を推進する事業〕

主な事業費		主な財源
職員手当	143,460 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入金
事務用品等	91,037 円	

④ ふるさと応援隊の支援・推進

決算	293,514 円
予算	359,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P7-①

各地区コミュニティ組織の交流（ネットワーク）を推進し、より広い視点に立ったふるさとづくりの振興と地域の活性化を図るため、活動実践者（リーダー）等によって結成されたふるさと応援隊の支援・推進を行った。また、月1回の定例会において、各地区のコミュニティ推進組織の情報交換を積極的に行った。隊員は、ボランティア活動、イベント応援・開催等の実践を通して得た経験等を自分の地域において活用するとともに、応援隊がコミュニティ活動を支援することで応援先の地域にも刺激を与え、円滑な活動へとつなげるよう相乗効果の発揮に努めた。



◎ ふるさと応援隊事務局の運営

◎ ふるさと応援隊ホームページの運営

ホームページアドレス：<http://gokan-furusato.org/furusato-ontai/top.html>

◎ ふるさと応援隊のレベルアップのための勉強会、講習会等への参加促進

◎ 平成 24 年度活動報告書の作成

◎ 平成 25 年度 ふるさと応援隊活動

○ 意見交換会 ● 勉強会 ★ イベントの開催 ☆ イベントの視察・応援

♪ 交流会

vol	期 日	場 所	内 容	参加人数
1	4/7 (日) 13:00~16:00	ふるさと産品の店 こあ	☆ “こあの桜まつり” 応援	21 名
2	5/24 (金) 18:30~21:30	周南市 市民交流センター	○ ふるさと応援隊総会 ♪ ふるさと応援隊交流会	24 名
3	6/8 (土) 17:00~22:00	大道理公民館 周辺	☆ 大道理ホテル鑑賞の夕べ 応援・視察	13 名
4	6/19 (水) 19:00~21:00	ふるさと産品の店 こあ	○ 定例会Ⅰ ○ ふるさと発見伝ⅩⅡ実行委員会	16 名
5	7/18 (木) 19:00~21:00	ふるさと産品の店 こあ	○ 定例会Ⅱ ○ ふるさと発見伝ⅩⅡ実行委員会	23 名
6	7/20 (土) 17:00~22:00	楠木公園	☆ 楠木納涼ふれあい夏祭り 応援・視察	17 名
7	7/21 (日) 17:00~22:00	城ヶ丘公園	☆ 桜木地区ふれあい夏祭り 応援・視察	18 名
8	8/3 (土) 17:00~22:00	久米小学校 グラウンド	☆ 久米地区 ふるさと夏まつり応援・視察	17 名
9	8/21 (水) 19:00~21:00	赤谷山荘	○ 定例会Ⅲ ○ ふるさと発見伝ⅩⅡ実行委員会	20 名
10	8/31 (土) 16:00~22:30	須磨小学校 グラウンド(須金)	☆ 須金なし・ぶどうまつり 2011 応援・視察	荒天中止
11	9/19 (木) 19:00~21:00	ふるさと産品の店 こあ	○ 定例会Ⅳ ○ ふるさと発見伝ⅩⅡ実行委員会	20 名
12	10/16 (水) 19:00~21:00	ふるさと産品の店 こあ	○ 定例会Ⅴ ○ ふるさと発見伝ⅩⅡ実行委員会	20 名
13	10/25 (金) 18:00~22:00	周南市 市民交流センター	○ ふるさと発見伝ⅩⅡ実行委員会 (前日準備)	25 名
14	10/26 (土) 9:00~17:00	周南市 市民交流センター	★ ふるさと発見伝ⅩⅡの開催	28 名
15	11/21 (木) 18:30~22:00	周南市内	○ 定例会Ⅵ ○ 発見伝ⅩⅡ反省会・忘年会	22 名
16	12/28 (土) 8:45~15:00	ふるさと産品の店 こあ	☆ こあ歳末市の応援	19 名
17	1/16 (木) 19:00~21:00	ふるさと産品の店 こあ	○ 定例会Ⅶ ♪ 新年会	18 名
18	2/19 (水) 19:00~21:00	ふるさと産品の店 こあ	○ 定例会Ⅷ	23 名

vol	期 日	場 所	内 容	参加人数
19	3/8(土) ~9(日)	岡山県津山市 鳥取県鳥取市鹿野	● 周南市コミュニティ 若者参画事業への参加	13名
20	3/19(水) 19:00~21:00	ふるさと産品の店 こあ	○ 定例会区	17名
21	3/23(日) 9:00~14:00	動物園	☆ きたぞうフェスタの応援	11名
他	通年	事務局	ホームページの運営	
延べ参加人数				385名



ふるさと発見伝Ⅱの開催



大道理地区ほたる鑑賞の夕べの応援

〔公益目的事業1 (1) コミュニティ活動（地縁型）の支援 ウ. コミュニティ推進組織の交流と相互支援を推進する事業〕

主な事業費		主な財源
活動報告書の印刷製本費	205,000 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入金
燃料費	36,514 円	
活動案内他郵送料	52,000 円	

⑤ コミュニティアクションリーダー養成講座

決算 0 円  
予算 14,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P7-①

各地区コミュニティ推進組織における新たな担い手を育成することを目的に、周南市と共催で地域づくり講座を4会場で開催した。

◎ 地域づくり講座

- ア 2/26 東部 久米公民館
- 3/13 北部 向道湖ふれあいの家
- 3/14 中央 保健センター
- 3/18 西部 新南陽ふれあいセンター
- イ 参加者数 43名



〔公益目的事業1 (1) コミュニティ活動（地縁型）の支援 イ. 周南市コミュニティ推進連絡協議会に対する支援〕

主な事業費	主な財源
0 円	



## ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P7-①

周南市市民交流センターをコミュニティ交流拠点とし、周南市コミュニティ推進連絡協議会の事務局を運営した。協議会が実施している情報交換、研修会等の交流事業を支援し、充実を図った。

## ◎ 役員会

- ア 期 日 平成 25 年 5 月 30 日（木）14:00～
- イ 場 所 文化会館
- ウ 参加者 周南市コミュニティ推進連絡協議会 役員
- エ 内 容 総会概要・提出議題の協議 等

## ◎ 総会

- ア 期 日 平成 25 年 6 月 10 日（月）15:30～
- イ 場 所 周南市徳山保健センター
- ウ 参加者 各地区コミュニティ推進組織会長及び代理等
- エ 内 容 事業報告、収支決算、  
事業計画、収支予算、情報交換 等



## ◎ 視察対応

- ア 期 日 平成 25 年 6 月 27 日（木）13:30～
- イ 場 所 周南市市民交流センター
- ウ 相手方 福岡県朝倉市コミュニティ推進組織の事務局長
- エ 内 容 概要説明・各地区の活動紹介等  
(6/28 は桜木地区コミュニティ推進協議会が対応)



## ◎ 交流集会

- ア 期 日 平成 25 年 10 月 19 日（土）13:30～19:00
- イ 場 所 三丘地区（徳修館他）
- ウ 参加者 18 地区コミュニティ推進組織等より 59 名参加
- エ 内 容 三丘地区の活動紹介  
地区・活動概要・伝統芸能（糸あやつり）・徳修館視察等  
情報交換会



## ◎ 三団体合同視察研修

- ア 期 日 平成 25 年 10 月 24 日（木）25 日（金）
- イ 視察地 福岡県北九州市・宗像市
- ウ 参加者 16 地区コミュニティ推進組織等より 20 名参加
- エ 内 容 エコタウン・次世代エネルギーパーク等

## ◎ 視察対応

- ア 期 日 平成 25 年 11 月 10 日（日）14:00～
- イ 場 所 周南市市民交流センター
- ウ 相手方 若宮市自治会長
- エ 内 容 概要説明・各地区の活動紹介等

## ◎ 三団体合同交流会

- ア 期 日 平成 25 年 11 月 27 日（水）18:00～
- イ 場 所 周南市内
- ウ 参加者 23 地区コミュニティ推進組織等より 55 名参加
- エ 内 容 交流会

◎ 若者参画事業

② 先進地視察と共催事業

◎ 視察対応

ア 期 日 平成 26 年 3 月 25 日（火） 15:00～

イ 場 所 周南市市民交流センター

ウ 相手方 倉敷市市議会議員

エ 内 容 概要説明・各地区の活動紹介等



◎ その他

ア イベント器材の貸出

貸出器材 ガーデンテーブル・チェア、音響器材、パソコン、綿菓子器 等

貸出件数 266 件

イ コミュニティ関連の情報収集・提供

全国地域づくり人財塾への参加（2 回）、広島県三次市コミュニティの視察 等

〔公益目的事業 1 (1) コミュニティ活動（地縁型）の支援 イ. 周南市コミュニティ推進連絡協議会に対する支援〕

主な事業費		主な財源
研修等負担金	52,050 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入金
事務用品 等	100,175 円	

③③ 地域間ネットワーク形成事業

決算	0 円
予算	0 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P7-①

現在周南市も高齢化が進み、各地区コミュニティ推進組織の原点でもある小中学校も統廃合している状況である。そういったことから今後は、地区間のネットワーク形成が必要となってくる。また、防災の面から、平成 23 年に起こった東日本大震災で、被害にあった住民を助けられるのは被害の少ない住民であることから、地区間のネットワークが確立できれば、そういった体制が整っていくと考える。

そこで、平成 24 年度より、地区間ネットワーク形成事業を立ち上げた。今年度は、現状について各地区コミュニティ推進組織の会長宛に郵送した。また、相談対応や事業の際、必要性についてお話しした。

〔公益目的事業 1 (1) コミュニティ活動（地縁型）の支援 ウ. コミュニティ推進組織の交流と相互支援を推進する事業〕

主な事業費	主な財源
0 円	

情報収集・提供

- ① コミュニティ情報の提供
- ② 先進地視察

活動支援

- ③ 特色あるコミュニティ活動への支援
- ③② コミュニティコーディネート事業

人材育成

- ④ ふるさと応援隊の支援・推進
- ⑤ コミュニティアクションリーダー養成講座

環境づくり

- ⑥ 周南市コミュニティ推進連絡協議会事務局の運営
- ③③ 地域間ネットワーク形成事業

2 市民活動（テーマ型）	決算	464,516	円	（予算	625,000	円）
--------------	----	---------	---	-----	---------	----

⑦ 市民活動情報の提供	決算	0	円
	予算	7,000	円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P8

周南市市民活動支援センターや各市民活動グループから収集した市民活動情報を周南市市民交流センター2階の情報コーナーや多目的広場等で配布・掲示を行った。

- ◎ 市民活動情報の収集  
（提供者：市民活動団体・周南市市民活動支援センター等）
- ◎ 周南市市民交流センター2階の情報コーナーにおいてチラシ・広報誌を配布
- ◎ 周南市市民交流センター2階の多目的広場・階段・壁面等でイベントポスター・活動報告等を掲示



〔公益目的事業1 (2) 市民活動（テーマ型）の支援 ウ. 市民活動に関する情報の収集と発信〕

主な事業費	主な財源
0 円	

⑧ 特色ある市民活動への支援	決算	410,068	円
	予算	534,000	円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P8

市民活動を促進するため、市内で活動する市民活動団体が新たに行う事業、新たな展開が図れる事業案を広く募集し、テーマ型の特色あるふるさとづくり活動に対し、「しゅうなん元気活動支援事業助成金」を交付することにより、市民活動団体の活動のレベルアップを支援した。（審査に関しては平成24事業年度に実施）

- ◎ 平成25年度募集【平成24事業年度実施】
  - ア 期間 平成25年1月16日（水）～2月14日（木）
  - イ 周知 市広報、財団・周南市市民活動支援センターの各ホームページ、周南市市民活動グループバンク登録グループへのEメール送付
  - ウ 申請 6件
- ◎ 審査委員会【平成24事業年度実施】
  - ア 期日 平成25年3月21日（木）18:15～21:00
  - イ 場所 周南市市民交流センター
  - ウ 審査員 7名（市民活動促進協議会委員1名、理事2名、評議員2名、周南市地域振興部長、事務局長）



エ 内 容 申請者による事業説明（プレゼンテーション）と質疑応答をもとに、審査委員が事業の先駆性・問題提起・効果等 10 項目について 5 段階で採点を行い、審査委員で協議し、助成対象事業 6 件を決定した。（うち 1 件は事業中止のため助成せず）

◎ 助成対象事業実績

ア 太華山活用リレープラン

- ㊦ 実施団体 櫛浜地区コミュニティ推進協議会
- ㊧ 実施内容 例年単発的に行ってきた事業をリレー形式で行い、地区の全容を参加者に理解してもらう
- ㊨ 総事業費 308,807 円
- ㊩ 助成金額 65,000 円



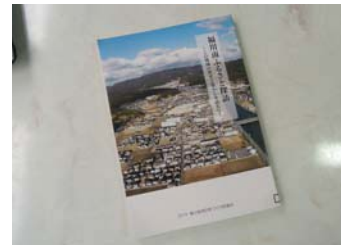
イ ものづくり科学教室

- ㊦ 実施団体 日本宇宙少年団周南分団
- ㊧ 実施内容 毎月 1 回、定例“ものづくり科学教室”の実施
- ㊨ 総事業費 198,975 円
- ㊩ 助成金額 65,000 円



ウ 福川南地区民俗・文化遺産継承事業

- ㊦ 実施団体 福川南地区まちづくり協議会
- ㊧ 実施内容 まちづくり冊子“福川南ふるさと探訪”を通じて、地域の歴史、発展過程、現在の暮らしを見つめて、地域をよく知る素材とし、郷土愛を育む
- ㊨ 総事業費 863,000 円
- ㊩ 助成金額 100,000 円



エ 和田っ子の米作り・もちつきを世界に発信！

- ㊦ 実施団体 TEAM376
- ㊧ 実施内容 米作りを体験したことのない人たちに農業体験の場を提供する。また、地域全体で「世界一長い餅づくり」に挑戦することで、地域の一体感の醸成と地区への誇りを持ってもらう
- ㊨ 総事業費 103,191 円
- ㊩ 助成金額 100,000 円



オ 穂～みのり～の開催

- ㊦ 実施団体 穂～みのり～運営委員会
- ㊧ 実施内容 龍文寺など、地域資源を活用し、ゆったりした空間づくりで来場者に楽しんでもらうイベント「穂～みのり～」の開催
- ㊨ 総事業費 93,546 円
- ㊩ 助成金額 70,000 円



◎ 平成 26 年度募集

ア 期 間 平成 26 年 1 月 15 日（水）～2 月 14 日（金）

イ 周 知 市広報、財団・周南市民活動支援センターの各ホームページ、周南市民活動グループバンク登録グループへの E メール送付

ウ 申 請 4 件

◎ 審査委員会

ア 期 日 平成 26 年 3 月 20 日 (木) 18:15~21:00

イ 場 所 周南市市民交流センター

ウ 審査員 6 名 (市民活動促進協議会委員 1 名、理事 1 名、評議員 2 名、周南市地域振興部長事務局長)

エ 内 容 申請者による事業説明 (プレゼンテーション) と質疑応答をもとに、審査委員が事業の先駆性・問題提起・効果等 10 項目について 5 段階で採点を行い、審査委員で協議し、助成対象事業 4 件を決定した。

◎ 助成対象事業

ア 中須地区住民の交流・活動拠点づくり事業

㊦ 実施団体 中須をよりよくする会

㊧ 実施内容 耕作放棄地を借り受け、地域住民が集うことができる場になるように整備し、交流・活動拠点にすることを旨とする

㊨ 総事業費 120,000 円

㊩ 助成金額 100,000 円

イ 里山体験学習 森の感謝祭

㊦ 実施団体 NPO 法人 LOVEECO 周南

㊧ 実施内容 里山での暮らしや、里山を維持するための活動、里山が果たす役割を、プログラムを通じて楽しみながら学んでもらうための事業の開催。

㊨ 総事業費 170,000 円

㊩ 助成金額 100,000 円

ウ 湯野温泉 de おとなも子どもも「湯るりらイチ」

㊦ 実施団体 湯野ゆるりら会

㊧ 実施内容 湯野地区への定住者増加を目標に、若い世代・ファミリー層へ向けて、湯野の楽しみ方を PR する事業を開催するとともに、日頃家事や仕事で忙しいお母さん・お父さんにも、温泉を活用したくつろぎの場を提供する。

㊨ 総事業費 230,000 円

㊩ 助成金額 100,000 円

エ 活動啓発リーフレット作成、および「子育てママリフレッシュ体験講座開催」

㊦ 実施団体 子育て応援団にっこリーナ

㊧ 実施内容 活動の概要を記載したリーフレットの作成及び、子育て中のお母さんのリフレッシュができるような体験講座の開催

㊨ 総事業費 83,840 円

㊩ 助成金額 43,000 円

[公益目的事業 1 (2) 市民活動 (テーマ型) の支援 ア. 特色ある市民活動への助成]

主な事業費		主な財源
助成金	400,000 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入金
審査委員謝金 等	10,068 円	

## ⑨ 市民活動講座の開催

決算	52,448 円
予算	81,000 円

### ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P8

市民活動グループ運営のための市民活動講座を実施するとともに、活動のレベルアップを目的とするファミリーライター養成講座を周南市市民活動支援センターと共同開催した。

#### ◎ 市民活動講座

##### ア 助成金活用講座

- ㊦ 期 日 平成 25 年 5 月 11 日 (土) 12 月 14 日 (土)
- ㊧ 会 場 周南市新南陽ふれあいセンター  
周南市市民交流センター
- ㊨ 講 師 平田隆之氏 (NPO 法人市民プロデュース)  
森永小波 (きらめき財団)
- ㊩ 参加数 延 17 団体 23 名
- ㊪ 内 容 助成金の申請書の書き方のポイント



##### イ イベント企画運営講座

- ㊦ 期 日 平成 25 年 6 月 15 日 (土) 22 日 (土)
- ㊧ 会 場 周南市市民館
- ㊨ 講 師 平田隆之氏 (NPO 法人市民プロデュース)
- ㊩ 参加数 延 11 団体 11 名
- ㊪ 内 容 企画立案と人集めのポイント



##### ウ 情報発信講座

- ㊦ 期 日 平成 25 年 9 月 4 日 (水) 11 日 (水) 18 日 (水)  
平成 26 年 2 月 2 日 (日)
- ㊧ 会 場 周南市市民交流センター
- ㊨ 講 師 渡辺康晴氏 (HSC)  
平田隆之氏 (NPO 法人市民プロデュース)  
坂本政道・中村浩樹 (ふじたプリント)
- ㊩ 参加数 延 43 団体 52 名
- ㊪ 内 容 Facebook を使用した情報発信  
チラシ・広報誌の作成のポイント



##### エ 「想い」を「カタチ」にする実践ノウハウ ～ NPO マーケティングに学ぶ

- ㊦ 期 日 平成 25 年 9 月 7 日 (土) 8 日 (日)
- ㊧ 会 場 周南市市民交流センター
- ㊨ 講 師 長浜洋二氏 (NPO マーケティング研究所所長)
- ㊩ 参加数 17 名
- ㊪ 内 容 現状分析の手法、ターゲット (対象) の絞り込み方、  
広報の実践的なテクニック 等



##### オ NPO 法人啓発講座

- ㊦ 期 日 平成 25 年 11 月 23 日 (土) 30 日 (土)
- ㊧ 会 場 周南市市民交流センター
- ㊨ 講 師 伊藤彰氏 (やまぐち県民活動支援センター長)
- ㊩ 参加数 延 26 団体 28 名
- ㊪ 内 容 NPO 法人設立に必要な手続き



カ ファシリテーショングラフィック講座

- ㊦ 期 日 平成 26 年 1 月 18 日 (土)
- ㊧ 会 場 周南市市民交流センター
- ㊨ 講 師 吉岡恵美氏 (NPO 法人市民プロデュース理事長)
- ㊩ 参加数 15 団体 17 名
- ㊪ 内 容 円滑な会議運営



キ 経理・税務講座

- ㊦ 期 日 平成 26 年 3 月 2 日 (日) 9 日 (日)
- ㊧ 会 場 周南市市民交流センター
- ㊨ 講 師 中村久枝氏 (NPO 法人日本フィナンシャルプランナーズ協会山口支部長)
- ㊩ 参加数 7 団体 8 名
- ㊪ 内 容 経理・決算のポイント



㊫ ファシリテーター養成講座

- ア 期 日 平成 25 年 7 月 17 日 (水) 24 日 (水) 31 日 (水)  
8 月 7 日 (水) 18 日 (日) 24 日 (土)
- イ 会 場 周南市市民交流センター
- ウ 講 師 NPO 法人市民プロデュース  
船崎美智子 氏 平田隆之 氏 吉岡恵美 氏
- エ 参加数 延 74 名
- オ 内 容 会議進行の技等



〔公益目的事業 1 (2) 市民活動 (テーマ型) の支援 イ. 市民活動に関する講座の開催〕

主な事業費		主な財源
講師の謝金・交通費	48,440 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入金
事務用品	4,008 円	

⑩ 市民活動拠点施設の調査

決算	2,000 円
予算	3,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P8

現在、周南市の市民活動拠点施設としては、周南市市民交流センター内の周南市市民活動支援センター及び福川地区にある周南市西部市民活動支援センターがある。平成 24 年度は、コミュニティ推進組織を中心に活動拠点の現状について調査した。

〔公益目的事業 1 (2) 市民活動 (テーマ型) の支援 ウ. 市民活動に関する情報の収集と発信〕

主な事業費		主な財源
消耗品	2,000 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入金

情報収集・提供

- ⑦ 市民活動情報の提供

活動支援

- ⑧ 特色ある市民活動への支援

人材育成

- ⑨ 市民活動講座の開催

環境づくり

- ⑩ 市民活動拠点施設の調査



## II ものからひとへのふるさとづくり

決算 8,908,091 円  
(予算 9,622,000 円)

地場産品には環境保全や伝統・文化の継承といった働きもあることから、地域おこしのために欠かせない原動力のひとつである。

そこで、地場産品を通して都市と農山漁村との人とひととのふれあい・交流を大切にしながら地産地消を推進した。また、周南市の地場産品について興味・関心を持ち、より理解を深めるきっかけづくりと体験を通じた学ぶ場を提供し、もの（地場産品）からひと（ふるさとづくりの担い手）へと心のつながるふるさとづくりを目指した。

主な事業費		主な財源
人件費	5,574,098 円	基本財産運用収入、販売手数料、周南市補助金、ふるさと振興基金繰入金
消耗品費	189,562 円	
光熱水費	1,155,095 円	
使用料及び賃借料	734,225 円	
公課費等	1,255,111 円	

### 1 都市と農山漁村の交流

決算 8,707,479 円

(予算 9,400,000 円)

#### ⑪ 地場産品の情報の提供

決算 1,925,486 円  
予算 1,982,000 円

#### ふるさとづくり推進プランII「五感で感じるふるさと周南」 P9

生産者の思い入れや料理方法など、地域の魅力を紙面やホームページ、周南市市民交流センター及びふるさと産品の店“こあ”で情報発信し、地場産品への愛着と理解を深めてもらうきっかけづくりに努めた。

また、地場産品に関する理解を深めてもらうため、財団の機関紙「ふるさとかわら版」で特色ある地場産品や生産者、調理・加工方法等の情報発信を行った。

##### ◎ ふるさと産品の店“こあ”での地場産品の紹介

##### ◎ 生産者・郷土料理・行事食等紹介

##### ア 生産者紹介

商品	取材先	地区
よもぎ食パン	なかや	須金
くまげ漬	熊毛農産物加工所	三丘
かしわ餅	しぶかわ工房	渋川
なすびジャム	熊毛農産物加工所	三丘
高瀬こんにやく	和田農産物加工所	和田

##### イ 掲示場所

市民交流センター、ふるさと産品の店“こあ”店内及び壁面等、ホームページ

##### ウ こあ通信産品紹介

毎月、おススメ産品を掲載



◎ 報道機関と連携した情報の提供

ケーブルテレビ 生産者紹介「みてこれサネッティ」

月	産品	生産者	地区
4	くまげ漬	熊毛農産物加工所	熊毛・三丘
5	かしわ餅	しぶかわ工房	鹿野・渋川
7	せせらぎ豆腐	大潮田舎の店	鹿野・大潮
8	なすびジャム	熊毛農産物加工所	熊毛・三丘
9	梨・ぶどう	あゆみ農園・ふるた梨ぶどう園	徳山・須金
10	都濃自然米 (泣かす米)	棚田清流の会 都濃自然米生産グループ	徳山・中須
12	高瀬こんにゃく	和田農産物加工所	新南陽・和田
1	米粉パン	八代農産物加工所	熊毛・八代
2	きういジャム	熊毛農産物加工所	熊毛・三丘



◎ 産品活用レシピ作成

調理名	食材	地区
タラの芽の胡麻みそ和え	タラの芽	四熊
ハッサクの砂糖漬け	ハッサク	戸田
赤しそジュース	赤しそ	夜市的場
赤しそジュースゼリー	赤しそ	夜市的場
大根の醤油漬け	大根	夜市才原
梅ジャム	青梅	菊川
梅ドレッシング	青梅	夜市



配布場所

市民交流センター、ふるさと産品の店“こあ”店内、ホームページ、生涯学習センター

◎ 体験会・イベント等の報告

◎ ふるさと産品の店“こあ”ホームページの運営

アドレス <http://gokan-furusato.org/koa/index.html>

ブログ、フェイスブックを連携させたリアルタイムな情報提供を実施

◎ ふるさとかわら版による地場産品の紹介

ふるさとかわら版 年3回 各2,000部発行

◎ 地場産品ガイドブックの配布



〔公益目的事業1 (3) 地域資源を活用した活動の支援 イ. 地場産品を活用したふるさとづくりの支援〕

主な事業費		主な財源
人件費	1,604,958 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入金
燃料費	90,946 円	
事務用品 等	229,582 円	

⑫ 市内外へ出張による地場産品の普及活動	決算	226,586 円
	予算	227,000 円

### ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P9

ふるさと産品の店“こあ”や朝市・夕市の利用者のほか、周南市の地場産品を広く知ってもらうため、市内で実施され多数の集客が見込まれるイベントに出張販売することで、地場産品の普及活動を行った。



#### ◎ 周南コンベンションシティの推進

##### ア 連携団体：公益財団法人周南市体育協会

我がまちスポーツ推進事業の一環として、キリンビバレッジ周南総合スポーツセンターで実施された各種大会において、公益財団法人周南市体育協会と十分に協議を行いながら、県外から来場された方々におもてなしをするため地場産品のPRと販売を行った。

回	期 日	イベント名
1	6/23 (日)	第 65 回中国卓球選手権大会
2	7/6 (土)	高松宮記念杯第 3 回全日本ハンドボール選手権大会
3	7/13 (土)	西日本地区居合道講習会及び審査会
4	8/24 (土)	第 22 回 JOCジュニアオリンピックカップハンドボール大会中国予選
5	9/15 (日)	全国ソフトバレーボールレディース&メンズ交流会
6	11/3 (日)	第 22 回山口放送旗西日本弓道大会
7	11/23 (土)	第 65 回全日本大学バスケットボール選手権大会
8	12/8 (日)	スポーツひのまるキッズ中国小学生柔道大会
9	1/12 (日)	第 34 回伊藤杯徳山オープン卓球大会・原田裕花杯中国大会
10	2/1 (土)	第 41 回全国高等学校選抜卓球大会中国予選会
11	2/15 (土)	全日本社会人ハンドボールチャレンジ 2013
12	2/22 (土)	東日本大震災復興支援レスリング親善交流大会

##### イ 連携団体：一般財団法人周南観光コンベンション協会

回	期 日	場 所	イベント名
1	9/28 (土)	ホテルサンルート徳山	日本情報経営学会全国大会
2	10/11 (金)	周南市文化会館	夜景サミット 2013 in 周南
3	10/17 (木)	ホテルサンルート徳山	全国清港連絡協議会
4	11/15 (金) 11/16 (土)	周南市文化会館	造形・美術教育研究全国大会
5	12/5 (木)	ホテルサンルート徳山	中国管内商工会議所専務理事会
6	12/7 (土)	キリンビバレッジ周南総合スポーツセンター	スポーツひのまるキッズ中国小学生柔道大会
7	2/22 (土)	ホテルサンルート徳山	感染症セミナー

ウ その他 周南市等が出席される各種催し及び県人会等への情報提供を行った。

しゅうなん美味しいMAP、産品紹介チラシ等を配布した。

◎ 各会場での普及活動

	期 日	場 所	イベント名
1	4/6 (土) 4/7 (日)	麒麟ビバレッジ 周南総合スポーツセンター	花☆ワイン周南まんま市場
2	4/11 (木)	周南市役所売店前	市役所販売
3	4/21 (日) 4/22 (月) 4/23 (火) 4/24 (水) 4/25 (木) 4/26 (金) 4/30 (火)	大道理芝桜会場	芝桜まつり
4	5/4 (土)	周南市文化会館	日本食品衛生協会中四国ブロック大会
5	5/9 (木)	周南市役所売店前	市役所販売
6	6/13 (木)	周南市役所売店前	市役所販売
7	7/11 (木)	周南市役所売店前	市役所販売
8	7/25 (木)	榑浜コミュニティセンター	地域食体験リレー
9	8/8 (木)	周南市役所売店前	市役所販売
10	8/22 (木)	榑浜コミュニティセンター	地域食体験リレー
11	9/12 (木)	周南市役所売店前	市役所販売
12	10/10 (木)	周南市役所売店前	市役所販売
13	10/14 (祝)	リサイクルプラザペガサス環境館	第4回周南市エコフェスタ
14	10/14 (祝)	津田恒実メモリアルスタジアム	市民スポーツフェスタ 2013
15	10/19 (土)	三丘徳修館	コミュニティ交流集会
16	10/26 (土)	銀座通り軽トラ市コーナー	第64回のと祭ふるさと市場
17	10/26 (土)	周南市市民交流センター	ふるさと発見伝
18	11/7 (木)	ザ・グラマシー	山口県自治会連合会研修会
19	11/14 (木)	周南市役所売店前	市役所販売
20	11/10 (日)	榑浜コミュニティセンター	榑浜地区文化祭
21	12/7 (土)	ボートレース徳山	GⅡ徳山ジェネレーションバトルモーターボート大賞
22	12/12 (木)	周南市役所売店前	市役所販売
23	12/22 (日)	周南市市民交流センター	冬のツリーまつりえんがわ祭
24	1/9 (木)	周南市役所売店前	市役所販売
25	2/11 (祝)	福山市フレスポ神辺	防府市周南市観光物産展
26	2/13 (木)	周南市役所売店前	市役所販売
27	3/13 (木)	周南市役所売店前	市役所販売
28	3/22 (土) 3/23 (日)	ボートレースとこなめ	オラレサミット 2013

主な事業費		主な財源
イベントスタッフ人件費	216,313 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入金、雑収入
事務用品 等	10,273 円	

⑭ ふるさと朝市・夕市及び普及イベントの支援

決算	96,687 円
予算	97,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P9

人とひととが関わる「人や心」の交流と、地産地消を推進する「ものの交流」を通して、消費者と生産者が相互理解を深めるため、直接ふれあう朝市・夕市を支援した。

また、生産者グループが主体となって実施されている朝市・夕市連絡協議会で、よりよい運営・イベント等について協議し、産地、生産者等についての理解を深めてもらえるように努めた。

- ◎ 朝市 毎週火曜日 8:30~10:30
- ◎ 夕市 毎週木曜日 13:00~16:00
- ◎ 桜まつり 4月7日(日)
- ◎ ミニ夏まつり 8月1日(木)
- ◎ 地産地消フェア(ルーラル315・376 フェスタ)  
11月10日(日)  
徳山商工高校 高校生開発商品試食販売実施
- ◎ 歳末市 12月28日(土)  
岐陽中学校 ボランティア16名参加
- ◎ ふるさと朝市・夕市連絡協議会の開催 団体数 15グループ(野菜、鮮魚、花、パン等)



回	期 日	内 容
1	5/28(火)	こあの桜まつりの気づきについて、運営について
2	6/15(土)	親睦会
3	10/15(火)	こあの地産地消フェア(ルーラル315・376 フェスタ)について、運営について、歳末市について
4	1/26(日)	親睦会
5	2/25(火)	歳末市の気づきについて、運営について、こあの桜まつりについて

主な事業費		主な財源
事務用品 等	96,687 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入金

⑮ 食農ボランティア活動の支援

決算	18,180 円
予算	23,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P10

周南市大田原自然の家の小麦や大豆、野菜などの栽培をするためのボランティア活動を支援した。



◎ 年間 14 回実施（毎月）

〔公益目的事業 1 (3) 地域資源を活用した活動の支援 ウ. 大田原自然の家の運営〕

主な事業費		主な財源
燃料費	12,980 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入金
通信運搬費	5,200 円	

⑯ 地場産品推進拠点施設の運営

決算	6,440,540 円
予算	7,071,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P10

周南市の中心（まちなか）で都市と農山漁村をつなぐ橋渡しと、「人と地域の魅力」を多くの方に知っていただくことを目指し、ふるさと産品の店“こあ”で地域の産品を手に取り、身近に感じてもらえる運営に努めた。

◎ 地域の日の実施

朝市・夕市で紹介できない周辺地域のものを集中して紹介

第 1 火曜日	熊毛の日
第 2 木曜日	鹿野の日
第 3 月曜日	新南陽の日
毎週火曜日	八代の日・和田の日



◎ 郷土の日の実施

第 1 木曜日	ささげご飯
第 3 木曜日	田舎寿司
第 4 木曜日	炊き込みご飯
第 5 木曜日	お楽しみご飯



◎ 学校の受入れ

岐陽中学校；総合的な学習の時間「周南探訪」

熊毛北高校；課題研究「研修視察」

◎ 店舗道路沿いに産品や店内風景等、写真の掲示

◎ 店舗駐車場フェンス沿いに生産者紹介の掲示

◎ 生産者及び地域の写真の掲示

◎ セット品等贈答用の利用促進

◎ エコスタンプの実施

◎ 文化振興財団会員の特典制度への加入

◎ 報道機関の協力による紹介活動



〔公益目的事業 1 (3) 地域資源を活用した活動の支援 イ. 地場産品を活用したふるさとづくりの支援〕

主な事業費		主な財源
人件費	3,752,827 円	販売手数料(4,236,716 円)、周南市補助金(711,000 円)、雑収入、ふるさと振興基金繰入金
光熱水費	1,155,095 円	
建物等賃借料	734,225 円	
公課費等	798,393 円	

#### 情報収集・提供

- ⑪ 地場産品の情報の提供
- ⑫ 市内外への出張による地場産品の普及活動

#### 活動支援

- ⑭ ふるさと朝市・夕市及び普及イベントの支援

#### 人材育成

- ⑮ 食農ボランティア活動の支援

#### 環境づくり

- ⑯ 地場産品推進拠点施設の運営

**2 食農・食育** 決算 200,612 円 (予算 222,000 円)

⑰ 地場産品に関する体験講習会の開催	決算	118,253 円
	予算	136,000 円

#### ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P11

地場産品をより身近に感じる場づくりと、生産者と消費者の交流に努め、周南市の地場産品に対する理解をさらに深めてもらうきっかけづくりを行った。

今年度は若い年齢層に参加を促しながら実施した。

下記に実施した内容は、イベント報告としてレシピとあわせてホームページに掲載した。



#### ア 地域食体験リレー

今残しておかないと消えてしまう郷土料理、昔ながらの味を伝承していくこととあわせ、作る人を知るきっかけづくりを行い、地域のファンづくりを行うことを目的に開催した。各地区加工所等と連携しながら取り組んだ。

今年度は榎浜コミュニティセンター、榎浜公民館と連携し周南市母子推進協議会の協力を得て託児所付き講座として榎浜コミュニティセンターにて実施した。

地域へ出向いて開催したことにより、地域間交流の促進にもつながった。

期日	紹介地区	会場	内容	講師(実施者)	参加者
7/25 (木)	熊毛編	榎浜コミュニティセンター	なすのはさみ揚げ、 なすのじゅんさい風吸い物他	熊毛農産物加工所	7名

期日	紹介地区	会場	内 容	講師（実施者）	参加者
8/22 (木)	長野山編	榎浜コミュニティセンター	こんにゃく寿司、わさびの白和え他	長野山生改連	6名
11/24 (日)	桜田会編	ふるさと産品の店“こあ”	柚子味噌とお餅の餃子の皮ピザ、白菜と白葱のムース他	桜田会	9名

## イ お気軽お抹茶カフェ

季節を感じる上生菓子の解説を聞きながら、和菓子とお抹茶を気軽に味わっていただき「和」を楽しむ内容として実施した。

協力；お抹茶カフェ実行委員会（水木菓子舗 3代目店主岩崎龍司）

期 日	参加者	期 日	参加者
6/8（土）	約 70 名	11/24（日）	6 名
7/27（土）	18 名	1/9（木）	15 名
8/31（土）	台風のため中止	2/22（土）	20 名
9/28（土）	25 名	3/27（木）	8 名
10/23（水）	19 名		

## ウ その他の体験教室

期 日	内 容	講師（実施者）	参加者
4/7（日）	フラワーアレンジメント	吉山花園	約 10 名
7/12（金）	しそジュースづくり	坪井智子	16 名
7/27（土）	大豆カレーを作ろう	廣政明香	18 名
11/10（日）	木工体験	厚東健二	約 20 名
11/10（日）	周南スープ試食会	周南市食生活改善推進協議会	100 名
12/28（土）	そば打ち体験	須々万加工場グループ	約 10 組 30 名
2/22（土）	みそづくり体験	周南市大田原自然の家 松原ますみ	15 名
2/22（土）	美味しいお米の炊き方講座	棚田清流の会	約 30 名

〔公益目的事業 1 (3) 地域資源を活用した活動の支援 イ. 地場産品を活用したふるさとづくりの支援〕

主な事業費		主な財源	
講師謝金	68,000 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入金	
事務用品 等	50,253 円		

## ⑩ 食育体験プログラムの提供

決算	0 円
予算	0 円

### ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P11

周南市大田原自然の家で、加工食品作り、農作業体験等の食育体験のプログラムを提供した

#### ◎ 主な体験活動

パン作り、そば打ち、こんにゃく作り、野外炊事、田植え、稲刈り 等



〔公益目的事業 1 (3) 地域資源を活用した活動の支援 ウ. 大田原自然の家の運営〕



主な事業費	主な財源
0 円	

⑱ 子ども・家族対象の食農・食育活動	決算	5,399 円
	予算	9,000 円

### ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P11

子どもとその家族を対象とする食農・食育体験事業や、「食」に関する講座をふるさと産品の店“こあ”と周南市大田原自然の家で実施した。地場産品を愛する心を育み、安心・安全な「食」を次世代に引き継ぐことを目指した。

実施にあたっては、「ふるさと産品の店“こあ”」と「周南市大田原自然の家」が連携しながら取り組んだ。

#### ◎ 「こあ」ってどんなところ？

ア 期 日 平成 25 年 8 月 1 日 (木)

イ 参加者 市内小学生 10 名

ウ 内 容 生産者との交流、販売実習、地元食材料理の食事、生産場  
所学習

エ 協力者 ふるさと朝市・夕市連絡協議会



#### ◎ 周南市大田原自然の家食農・食育事業

- ・ 大地を耕し作物をつくる家族のつどい (8 回シリーズ)
- ・ 育てて食べよう (6 回シリーズ)
- ・ 米こめ大作戦 (田植え・稲刈り)
- ・ おおたばらどろんこむら (4 回シリーズ)
- ・ 自然まるかじり (春、秋)
- ・ おおたばら収穫祭 (11 月)
- ・ 家族で楽しむひなまつり (3 月)



〔公益目的事業 1 (3) 地域資源を活用した活動の支援 イ. 地場産品を活用したふるさとづくりの支援、ウ. 大田原自然の家の運営〕

主な事業費	主な財源
事務用品 5,399 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入金

⑳ 食農・食育体験農園の管理	決算	76,960 円
	予算	77,000 円

### ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P11

子ども達が気軽に野菜の収穫体験ができるように周南市大田原自然の家に「ちびっ子農園」を設置し、野菜の栽培など農園の管理を行った。



〔公益目的事業 1 (3) 地域資源を活用した活動の支援 ウ. 大田原自然の家の運営〕

主な事業費	主な財源
活動用品 76,960 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入金

## 情報収集・提供

- ⑰ 地場産品に関する体験講習会の開催

## 活動支援

- ⑱ 食育体験プログラムの提供

## 人材育成

- ⑲ 子ども・家族対象の食農・食育活動

## 環境づくり

- ⑳ 食農・食育体験農園の管理

### Ⅲ 明日へつなげるふるさとづくり

決算 78,934,516 円  
 (予算 83,664,000 円)

周南市の各地域で培われてきた伝統や文化、豊かな自然と風土、活発な産業活動などの地域資源を基盤として、地域特性を活かしたふるさとづくりとネットワークの更なる充実に取り組み、地域の財産を次世代に継承できるよう、通信会員・拠点施設の利用者の増加・情報や体験プログラムの提供など市民の自主的・主体的なふるさとづくり活動を支援した。

主な事業費		主な財源
人件費	37,987,796 円	基本財産運用収入、会費収入、指定管理料、ふるさと振興基金繰入金
光熱水費	10,951,311 円	
委託料	19,568,704 円	
使用料及び賃借料	2,289,315 円	
消耗品費等	8,137,390 円	

#### ② ふるさとづくりに関する情報の提供

決算 82,711 円  
 予算 119,000 円

#### ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P12

周南市市民交流センターを「ふるさとづくり情報の拠点」と位置付け、財団の情報をインターネットで、広く市民に提供するため、財団関連のホームページ（コミュニティ推進連絡協議会・ふるさと応援隊・ふるさと製品の店“こあ”・周南市大田原自然の家）をとりまとめて紹介した。

また、情報発信コーナー「サイトス」における情報発信や自分たちの地域を知るために地域で作成された書籍や映像、関連資料を収集、貸出しを行った。

#### ◎ 財団ホームページの運営

ホームページアドレス：http://gokan-furusato.org

- ◎ 周南市市民交流センター2階 情報発信コーナー「サイトス」でイベントチラシ・公民館講座等の情報提供
- ◎ 「目で見ると徳山の歴史」「とくやま昔話」等周南市に関わる書籍・映像・資料等の収集・貸出



[公益目的事業1 (3) 地域資源を活用した活動の支援 ア. ふるさとづくりに関する情報の提供]

主な事業費		主な財源
消耗品	47,451 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入金
レンタルサーバー 等	35,260 円	

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P12

ふるさとの歴史・伝統・文化・食に関する情報やふるさとづくりの活動情報を盛り込んだ機関紙「ふるさとかわら版」を年3回発行とインターネットで発信することで、ふるさとの魅力の掘り起こしを行った。内容については、編集委員による編集会議を開催し、決定した。

アドレス：<http://gokan-furusato.org/zaidan/kawaraban.htm> (過去の内容を掲載)

また、「ふるさとかわら版」の中から数箇所厳選してふるさと探訪を行う予定だったが、台風のため中止した。



◎ ふるさとかわら版の内容

発行	内 容	
No.42	ふるさと探訪：漢陽寺	あんな風こんな風： 遠石地区コミュニティ推進協議会
	活動紹介：三味線民謡ボランティアかえる会	1枚の絵：徳山市鳥瞰図
	昔の遊び：山菜採り	いっておかえり。鹿野市
	山陽道エピソード：お地蔵さまの伝説ほか	ふるさとの味：きゅうり&バナナジュース
No.43	ふるさと探訪：若山城と陶の道	活動紹介：戸田地区コミュニティ推進協議会
	あんな風こんな風： 大向地区コミュニティ推進協議会	1枚の絵：須万市恵比須橋
	昔の遊び：蚕と遊ぶ	山陽道エピソード：富田瓦ほか
	ふるさとの味：ゆず大根	
No.44	ふるさと探訪：三丘穴戸家墓所	活動紹介：穂～みのり～運営委員会
	餅-1 グランプリ開催	1枚の絵①：久米地区
	昔の遊び：地理	1枚の絵②：徳山公園夫婦池
	山陽道エピソード：鹿野街道ほか	周南市美術館：ありがとうまど・みちおさん
	ふるさとの味：タラの芽のみそ和え	

◎ ふるさと探訪

期 日 平成 25 年 9 月 4 日 (水) 台風のため中止

[公益目的事業 1 (3) 地域資源を活用した活動の支援 ア.ふるさとづくりに関する情報の提供]

主な事業費		主な財源
編集委員謝金	30,000 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入金
機関紙等の印刷製本費	245,700 円	
案内郵送料等	28,069 円	

**ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P12**

周南市出身者、滞在経験者を中心に構成する「ふるさと通信会員」に対して、機関紙「ふるさとかわら版」及び「ふるさと味の宅配便」を送付し、周南市の情報とふるさとの味を楽しんでいただくことで、「ふるさと周南」を思い出していただいた。

また、ふるさと周南への思いの輪を広げるため、「大切な人」への贈り物としての活用を促した。

◎ ふるさとかわら版・ふるさとニュースの発送 年3回

◎ ふるさと味の宅配便の発送 年1回

A：アニバーサリーセット

(なすびジャム、徳山漬、八代和紙ポチ袋、しゅうなん外郎)

B：ぶちべんりセット

(にんにく醤油、あまうま醤油、本橙ぽん酢、白だし)

A・Bいずれかを希望選択により発送

◎ 平成25年度の新規会員数：18名

◎ 平成26年3月31日現在の会員数：217名

◎ 会員募集

ア 公益財団法人周南地域地場産業振興センターと連携し、徳山駅新幹線口改札内待合室（キオスク前）でショーケース展示PR

イ 徳山高校同窓会「岐山会」（徳山・東京）

ウ 報道機関の協力による広報活動

ケーブルテレビ放送：新周南新聞社「キャッチアップ周南」

ラジオ：しゅうなんFM「ウェブすなっち」

エ その他

コミュニティ交流集会、関西山口県同郷会、東海山口県人会、おいでませ山口館、周南市役所、市民交流センター、ふるさと製品の店“こあ”、ホームページ、財団各種講習会、広島、名古屋等



[公益目的事業1 (3) 地域資源を活用した活動の支援 ア.ふるさとづくりに関する情報の提供]

主な事業費		主な財源
産品代等消耗品	292,205 円	会費収入(434,000円)、基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入金
ふるさと通信等郵送料	198,044 円	
郵便振替手数料	14,120 円	

⑫ 体験活動プログラムの提供

決算	38,976 円
予算	39,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P13

周南市大田原自然の家で、自然や人とふれあいながら学ぶプログラムの提供やそれに必要な情報の収集、研究開発を行った。また、利用が少なくなる閑散期に学習支援として、学校等の要望に応じた出張指導・出前講座を行った。

- ◎ ウォークラリー・ハイキング
- ◎ クラフト（竹細工・木工・陶芸・わら細工等）
- ◎ 自然体験活動（キャンプ・沢登り・川遊び・カヌー・天体観察等）
- ◎ もやいで学ぶ体験活動 等
- ◎ 体験活動環境の整備（カヌー艇庫の設置：中之島公園）
- ◎ 出張指導・出前講座（榎浜小学校・夜市小学校・桜田幼稚園、徳山北高校等 11回）



〔公益目的事業1 (3) 地域資源を活用した活動の支援 ウ. 大田原自然の家の運営〕

主な事業費		主な財源	
活動用品	38,976 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入金	

⑬ ネットワーク形成イベントの開催

決算	500,000 円
予算	500,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P13

市民活動の推進、市民交流の促進、ふるさとづくりの育成等を目的とする周南市市民交流センターを活用し、幅広く市民に関心が持てるイベント（「ふるさと発見伝」）を開催し、人・地域・心（思い）の出会いの場となるイベントを支援した。また、周南市の昔の写真展やダンスコンテスト等、内容を充実し、幅広い年齢層に来館していただけるようPRに努めた。

- ◎ 周南市市民交流センター12周年記念事業  
「ふるさと発見伝Ⅷ」の開催支援
- ア 期 日 平成25年10月26日（土）
- イ 会 場 周南市市民交流センター
- ウ 来 場 者 約1,500名
- エ 交付団体 ふるさと応援隊
- オ 交付金額 500,000円
- カ 内 容 周南市に関するクイズ大会・ふるさと芸能、周南アーカイヴ、若者を中心としたダンスコンテスト 等



〔公益目的事業1 (4) (1)～(3)について横断的・総合的に支援するための事業 ア. ネットワーク形成イベントの開催〕

主な事業費		主な財源	
イベント開催交付金	500,000 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入金	

⑳ 子ども対象の自然体験事業

決算	14,175 円
予算	15,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P13

自然の中で五感を通してふれあうことで子どもの生きる力を育む体験の場を提供し、将来のふるさとづくりを担う豊かな心を持つたくましい子どもの育成と子育て家族の支援を行った。

- ◎ わんぱく村（春・夏・冬）1～6年生対象
- ◎ 子ども村（春・夏・秋） 高（春）・中（夏）・低（秋）学年対象
- ◎ のびのびいきいき自然児キャンプ（8月 6泊7日）
- ◎ 冬の50kmを歩く少年の旅（12月） 駅ビル～須々万～大田原～八代
- ◎ キャンプはじめのだい一步（4月）
- ◎ ファミリーアドベンチャーカヌーツーリング（9月）
- ◎ 手作りザオとシカケdeさかなつり（5月）
- ◎ ねんどであそぼう！（6月）
- ◎ Familyでたなばた（7月）
- ◎ 親子木工教室（8月）
- ◎ 秋の天体教室
- ◎ ネイチャークリスマスリース作り（12月）
- ◎ 正月を迎える家族のつどい（12月）



〔公益目的事業1 (3) 地域資源を活用した活動の支援 ウ. 大田原自然の家の運営〕

主な事業費		主な財源	
事務用品	14,175 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入金	

㉑ ボランティアと指導者の育成・支援及び連携

決算	10,000 円
予算	10,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P13

周南市大田原自然の家の活動に関わる中学生から高齢者までの幅広いボランティアの育成・支援及び連携を行い、人と交流する喜び、人を大切にする心や思いやりを育むことで体験活動の充実に取り組んだ。

- ◎ キャンプカウンセラー研修会（9月）
- ◎ キューピーズ養成キャンプ（6月）
- ◎ スキルアップセミナー（2月）
- ◎ ステップアップキャンプ（3月）
- ◎ キャンプカウンセラーリーダー養成冬バリュウパック（3月）
- ◎ ボランティア研修会（随時）



〔公益目的事業1 (3) 地域資源を活用した活動の支援 ウ. 大田原自然の家の運営〕

主な事業費		主な財源	
講師謝金	10,000 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入金	

⑳ 他団体との合同事業開催

決算	110,300 円
予算	111,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P14

周南市市民交流センターにおいて、他団体（公益財団法人周南市文化振興財団）との合同事業を開催し、団体間のネットワークの構築を図り、市民の交流の場を創出した。

また、財団の目的に合う他団体の事業に対して、後援・協力を行った。

◎ 「第13回周南市市民交流センター新春寄席」の開催

- ア 期 日 平成26年1月18日(土) 10:00~11:30
- イ 会 場 周南市市民交流センター2階 多目的広場
- ウ 出 演 桂梅團治、笑福亭喬介、松鶴家一若
- エ 内 容 落語、漫談 等
- オ 来 場 者 約200名
- カ 備 考 午後開催の新春寄席 in 桜木も共催



〔公益目的事業1 (4) (1)~(3)について横断的・総合的に支援するための事業 イ.市民交流センターの運営〕

主な事業費		主な財源
出演者謝金	100,000 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入金
消耗品	10,300 円	

㉑ ふるさとづくり拠点施設の管理・運営

決算	77,370,216 円
予算	81,790,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P14

周南市市民交流センター

市民活動の推進、市民交流の促進、ふるさとづくりの育成等を目的として設置された周南市市民交流センターの管理業務及び使用料の徴収事務を行った。また、周南市におけるコミュニティ及びふるさとづくりの拠点施設として、「ふるさと発見伝 XI」、「新春寄席」等を実施した。さらに、コミュニティ情報局、市民多目的広場の空きを利用して、各地区コミュニティ推進組織の情報提供を行った。

- ◎ 指定管理期間：平成25年度
- ◎ 利用者数：96,754人（H24：92,239人）
- ◎ 使用料収入：1,590,290円（H24：1,663,030円）
- ◎ 利用実績の詳細は37ページのとおり
- ◎ 自主事業（再掲P27、30、32）
- ◎ 多目的広場及び北側壁面を利用した地域づくり情報等の掲示  
 （例）桜木地区、久米地区、大津島地区、長穂地区等紹介  
 各地区の共通行事の掲示 どんど焼き・ほたる・さくらの名所等  
 市民活動団体の紹介、地場産品紹介



ホームページアドレス：<http://gokan-furusato.org/koryucenter/index.html>

〔公益目的事業1 (4) (1)~(3)について横断的・総合的に支援するための事業 イ.市民交流センターの運営〕



主な事業費		主な財源
人件費	9,593,770 円	指定管理料 (41,504,809 円)、雑収入
光熱水費	9,627,550 円	
警備業務等委託料	17,554,304 円	
放送器材等賃借料等	4,834,891 円	
合計	41,610,515 円	

## 周南市大田原自然の家

集団宿泊訓練及び野外活動等を通して心身ともに健全な青少年を育成することを目的に設置された周南市大田原自然の家の管理運営業務及び使用料の徴収事務を行った。また、市内の園児・児童を対象に手作りの機関紙の配布の他、H25年度よりフェイスブックを活用しての情報発信を開始した。

さらに、幅広い層を対象とした自主事業を企画し、食農・食育活動や自然の中での体験活動を通して特色ある運営を行い、ふるさとづくり推進プランとの連携を強化して事業を実施した。

- ◎ 指定管理期間：平成 23 年度～25 年度
- ◎ 利用者数：10,372 人 (H24：10,360 人)
- ◎ 使用料収入：605,215 円 (H24：667,665 円)
- ◎ 利用実績の詳細は 38 ページのとおり
- ◎ 利用者評価 満足度 3.95 スタッフ 3.98 (4 点満点)
- ◎ 家族対象事業

- ・ 大地を耕し作物をつくる家族のつどい
- ・ 育てて、食べよう～おおたばら食農学校～
- ・ 米こめ大作戦 (田植え、稲刈り) ・ 正月を迎える家族のつどい
- ・ おおたばらどろんこむら
- ・ 自然まるかじり (春、秋)
- ・ キャンプはじめのだい一歩
- ・ Family でたなばた
- ・ ファミリーアドベンチャーカヌーツーリング
- ・ 親子木工教室
- ・ ねんどであそぼう！
- ・ 自然となかよし☆ネイチャークリスマスリース作り
- ・ 手作りザオとシカケ de さかなつり
- ・ 家族でたのしむひなまつり ・ 手作り de 節分
- ・ 手作りピザ工房
- ・ 手作りベーコン工房 (H25 年度から新規開始)
- ・ 手作りみそ工房 (H25 年度から新規開始)
- ・ あったか手打ちうどん工房



### ◎ 子ども対象事業

- ・ わんぱく村 (春、夏、冬)
- ・ 子ども村 (夏、秋、春)
- ・ のびのびいきいき自然児キャンプ
- ・ 冬の 50km を歩く少年の旅

### ◎ 一般対象事業

- ・ 秋の天体教室
- ・ おおたばら収穫祭
- ・ おおたばら交流会

### ◎ 指導者対象事業

- ・ キャンプカウンセラー研修会
- ・ スキルアップセミナー
- ・ ステップアップキャンプ
- ・ 冬バリューパック



〔公益目的事業1 (3) 地域資源を活用した活動の支援 ウ. 大田原自然の家の運営〕

主な事業費		主な財源
人件費	25,956,278 円	指定管理料 (32,201,000 円)、雑収入
浄化槽維持管理等委託料	1,462,400 円	
公課費	1,388,700 円	
光熱水費等	2,882,947 円	
合 計	31,690,325 円	

周南市向道湖ふれあいの家

市民交流と住民福祉の増進を図ることを目的として設置された周南市向道湖ふれあいの家の管理業務及び使用料の徴収事務を行った。また、隣接する福祉農園で実施される茶園作業の支援、地区コミュニティと共催によるイベント「山野草を食べる会」を実施した。

- ◎ 指定管理期間：平成 25 年度～27 年度
- ◎ 利用者数：3,349 人 (H24：3,588 人)
- ◎ 使用料収入：70,170 円 (H24：55,640 円)
- ◎ 利用実績の詳細は 39 ページのとおり
- ◎ 自主事業



向道湖周辺の山野草を食べる会

- ㊦ 期 日 平成 25 年 6 月 16 日 (日)
- ㊧ 場 所 周南市向道湖ふれあいの家、向道湖畔
- ㊨ 参加者 32 名
- ㊩ 内 容 向道湖畔をウォーキングしながら山野草を採取し、ふれあいの家にて揚げて食べる

ホームページアドレス：<http://gokan-furusato.org/zaidan/kodofureai.htm>

〔公益目的事業1 (3) 地域資源を活用した活動の支援 エ. 向道湖ふれあいの家の運営〕

主な事業費		財 源
人件費	2,437,748 円	周南市指定管理料 (4,011,000 円)、基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入金、雑収入
光熱水費	761,784 円	
業務委託料	552,000 円	
公課費等	317,844 円	
合 計	4,069,376 円	

## 情報収集・提供

- ⑳ ふるさとづくりに関する情報の提供
- ㉑ ふるさとかわら版の発行と探訪
- ㉒ ふるさと通信会員
- ㉓ 設立 20 周年記念事業

## 活動支援

- ㉔ 体験活動プログラムの提供
- ㉕ ネットワーク形成イベントの開催

## 人材育成

- ㉖ 子ども対象の自然体験事業
- ㉗ ボランティアと指導者の育成・支援及び連携

## 環境づくり

- ㉘ 他団体との合同事業開催
- ㉙ ふるさとづくり拠点施設の管理・運営

## IV 中山間地域振興プロジェクト

周南市まちづくり総合計画・後期基本計画において、中山間地域振興プロジェクトが重点推進プロジェクトに位置付けられている。

ふるさと振興財団としては、周南市コミュニティ推進連絡協議会の事務局を担当していることから、市の計画の「施策の展開」に示されている「地域コミュニティの充実・強化」に重点を置き、各地区コミュニティと連絡等を密にし、さらに周南市大田原自然の家を活用した「多様なツーリズムの促進」、「こあ」における「農林水産物・知恵・技を生かした経済循環づくり」など、財団が管理・運営する公共施設を拠点として、地域活動の支援・情報の収集と発信を行った。

財団が推進する事業のうち、以下のものを中山間地域振興プロジェクトとしても取り組んだ。

### ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P15

#### 情報収集・提供

- |                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| ① コミュニティ情報の提供        | ② 先進地視察            |
| ⑦ 市民活動情報の提供          | ⑪ 地場産品の情報の提供       |
| ⑫ 市内外へ出張による地場産品の普及活動 | ⑰ 地場産品に関する体験講習会の開催 |
| ⑳ ふるさとづくり情報の提供       | ㉒ かわら版の発行と探訪       |
| ㉓ ふるさと通信会員           |                    |

#### 活動支援

- |                    |                        |
|--------------------|------------------------|
| ③ 特色あるコミュニティ活動への支援 | ㉓ コミュニティコーディネート事業      |
| ⑧ 特色ある市民活動への支援     | ⑭ ふるさと朝市・夕市及び普及イベントの支援 |
| ⑩ 食育体験プログラムの提供     | ㉔ 体験活動プログラムの提供         |
| ㉖ ネットワーク形成イベントの開催  |                        |

#### 人材育成

- |                 |                        |
|-----------------|------------------------|
| ④ ふるさと応援隊の支援・推進 | ⑤ コミュニティアクションリーダー養成講座  |
| ⑮ 食農ボランティア活動の支援 | ⑲ 子ども・家族対象の食農・食育活動     |
| ㉗ 子ども対象の自然体験事業  | ㉘ ボランティアと指導者の育成・支援及び連携 |

#### 環境づくり

- |                          |                  |
|--------------------------|------------------|
| ⑥ 周南市コミュニティ推進連絡協議会事務局の運営 | ③③ 地域間ネットワーク形成事業 |
| ⑯ 地場産品推進拠点施設の運営          | ⑳ 食農・食育体験農園の管理   |
| ⑳ ふるさとづくり拠点施設の管理・運営      |                  |

平成25事業年度 周南市市民交流センター 利用実績

月	区 分	講座室	大会議室	小会議室	多目的広場	合 計
4	使用件数(件)	39	42	42	36	159
	入場者数(人)	615	579	375	5,676	7,245
	施設使用料(円)	72,940	25,330	19,100	0	117,370
	冷暖房使用料(円)	1,880	170	360	0	2,410
	使用料合計(円)	74,820	25,500	19,460	0	119,780
5	使用件数(件)	33	41	52	46	172
	入場者数(人)	1,196	702	464	6,218	8,580
	施設使用料(円)	84,800	35,130	22,580	29,460	171,970
	冷暖房使用料(円)	5,880	1,910	840	0	8,630
	使用料合計(円)	90,680	37,040	23,420	29,460	180,600
6	使用件数(件)	30	46	48	36	160
	入場者数(人)	693	629	361	5,676	7,359
	施設使用料(円)	40,790	36,500	19,270	0	96,560
	冷暖房使用料(円)	4,920	3,050	1,640	120	9,730
	使用料合計(円)	45,710	39,550	20,910	120	106,290
7	使用件数(件)	37	46	53	48	184
	入場者数(人)	805	627	406	6,226	8,064
	施設使用料(円)	47,100	40,690	21,650	0	109,440
	冷暖房使用料(円)	5,600	3,690	2,240	360	11,890
	使用料合計(円)	52,700	44,380	23,890	360	121,330
8	使用件数(件)	31	51	40	58	180
	入場者数(人)	878	767	317	6,460	8,422
	施設使用料(円)	48,960	34,880	17,520	0	101,360
	冷暖房使用料(円)	6,080	4,140	1,960	1,560	13,740
	使用料合計(円)	55,040	39,020	19,480	1,560	115,100
9	使用件数(件)	35	47	46	36	164
	入場者数(人)	932	582	422	5,672	7,608
	施設使用料(円)	47,530	27,370	24,670	0	99,570
	冷暖房使用料(円)	5,520	2,850	2,260	180	10,810
	使用料合計(円)	53,050	30,220	26,930	180	110,380
10	使用件数(件)	35	45	53	53	186
	入場者数(人)	951	803	480	7,170	9,404
	施設使用料(円)	77,080	28,940	24,610	0	130,630
	冷暖房使用料(円)	3,760	1,660	820	0	6,240
	使用料合計(円)	80,840	30,600	25,430	0	136,870
11	使用件数(件)	39	53	49	64	205
	入場者数(人)	886	813	345	5,676	7,720
	施設使用料(円)	55,660	47,540	23,930	0	127,130
	冷暖房使用料(円)	2,600	2,720	1,240	0	6,560
	使用料合計(円)	58,260	50,260	25,170	0	133,690
12	使用件数(件)	37	52	49	67	205
	入場者数(人)	838	651	400	7,446	9,335
	施設使用料(円)	47,300	45,390	24,140	13,080	129,910
	冷暖房使用料(円)	4,400	2,860	1,980	0	9,240
	使用料合計(円)	51,700	48,250	26,120	13,080	139,150
1	使用件数(件)	30	41	43	47	161
	入場者数(人)	870	515	414	5,526	7,325
	施設使用料(円)	57,560	28,360	18,910	0	104,830
	冷暖房使用料(円)	6,440	2,580	1,800	240	11,060
	使用料合計(円)	64,000	30,940	20,710	240	115,890
2	使用件数(件)	37	48	46	34	165
	入場者数(人)	777	869	460	5,276	7,382
	施設使用料(円)	76,460	41,770	23,870	0	142,100
	冷暖房使用料(円)	5,280	3,800	2,440	180	11,700
	使用料合計(円)	81,740	45,570	26,310	180	153,800
3	使用件数(件)	50	44	51	45	190
	入場者数(人)	1,040	771	502	5,997	8,310
	施設使用料(円)	71,850	48,200	25,100	4,510	149,660
	冷暖房使用料(円)	3,960	2,010	1,660	120	7,750
	使用料合計(円)	75,810	50,210	26,760	4,630	157,410
合 計	使用件数(件)	433	556	572	570	2,131
	入場者数(人)	10,481	8,308	4,946	73,019	96,754
	施設使用料(円)	728,030	440,100	265,350	47,050	1,480,530
	冷暖房使用料(円)	56,320	31,440	19,240	2,760	109,760
	使用料合計(円)	784,350	471,540	284,590	49,810	1,590,290
前年度	使用件数(件)	429	580	610	557	2,176
	入場者数(人)	10,604	7,678	4,925	69,032	92,239
	使用料(円)	660,330	456,150	299,850	129,790	1,546,120
	冷暖房使用料(円)	55,550	34,620	20,440	6,300	116,910
	使用料合計(円)	715,880	490,770	320,290	136,090	1,663,030

平成25事業年度 大田原自然の家 利用実績

月	区分	学校教育関係				社会教育関係				主催事業	ボラン ティア	その他	出張 指導	合 計	使用料 (円)
		小学校	中学校	その他	計	少年 団体	青年 団体	その他	計						
4	実人数			29	29				0	131 (28)	17	161	329	667	57,360
	延人数			29	29				0	154 (28)	17	296	329	825	
	団体数			1	1				0	4	3	9	3	20	
5	実人数	115	40		155	40			40	531 (236)	15	134	47	922	52,900
	延人数	221	80		301	40			40	699 (294)	17	247	47	1,351	
	団体数	7	1		8	1			1	13	4	7	2	35	
6	実人数	80			80	99			99	460 (231)	17	30	92	778	22,800
	延人数	160			160	198			198	487 (258)	17	38	92	992	
	団体数	4			4	2			2	15	4	4	2	31	
7	実人数	31		11	42	267			267	339 (176)	28	155		831	74,405
	延人数	62		22	84	363			363	350 (187)	28	245		1,070	
	団体数	1		1	2	5			5	12	3	7		29	
8	実人数			77	77	293			28	516 (154)		241		1,155	138,715
	延人数			95	95	527			84	1,108 (375)		420		2,234	
	団体数			2	2	6			1	7		15		37	
9	実人数	17		33	50	8			8	174 (39)	11	152		395	68,760
	延人数	17		158	175	14			14	174 (39)	11	200		574	
	団体数	2		1	3	1			1	6	3	10		23	
10	実人数	59		33	92	49			49	448 (87)	20	125		734	75,725
	延人数	118		33	151	98			98	513 (104)	20	295		1,077	
	団体数	1		1	2	2			2	12	4	5		25	
11	実人数				0	105			20	296 (36)	13	92	70	596	44,570
	延人数				0	147			20	296 (36)	13	160	70	706	
	団体数				0	2			1	3	7	2	4	1	
12	実人数								0	266 (67)	13	15		294	3,140
	延人数								0	366 (95)	13	30		409	
	団体数								0	11	2	2		15	
1	実人数									118 (40)	7		59	184	0
	延人数									282 (100)	7		59	348	
	団体数									3	1		1	5	
2	実人数									130 (8)		5	46	181	1,550
	延人数									130 (8)		10	46	186	
	団体数									5		1	2	8	
3	実人数			32	32				27	188 (22)	3	51		301	65,290
	延人数			189	189				27	304 (55)	3	77		600	
	団体数			1	1				1	1	8	1	5	16	
合 計	実人数	302	40	215	557	861	0	75	936	3,597 (1,124)	144	1,161	643	7,038	605,215
	延人数	578	80	526	1,184	1,387	0	131	1,518	4,863 (1,579)	146	2,018	643	10,372	
	団体数	15	1	7	23	19	0	3	22	109	27	69	11	261	
前 年 度	実人数	287	36	359	682	805	0	0	805	3,349 (1,243)	181	1,356	497	6,870	667,665
	延人数	546	106	713	1,365	1,430	0	0	1,430	4,572 (1,649)	181	2,315	497	10,360	
	団体数	11	1	11	23	20	0	0	20	111	34	94	14	296	

※主催事業の（ ）の数値は、参加者数のうち主催事業に関わったボランティアの人数

平成25事業年度 向道湖ふれあいの家 利用実績

月		福祉農園	コミュニティ 公共機関等	自主事業	その他	合計	利用日数 開館日数	使用料 (円)	冷暖房料 (円)	計 (円)
4	利用者数	135	329	0	170	634	17	11,750	2,320	14,070
	団体数	6	10	0	7	23	26			
5	利用者数	81	111	0	24	216	12	4,640	0	4,640
	団体数	2	9	0	3	14	26			
6	利用者数	173	105	30	27	335	17	4,260	300	4,560
	団体数	6	8	1	3	18	26			
7	利用者数	108	147	0	35	290	15	3,620	2,740	6,360
	団体数	5	10	0	3	18	26			
8	利用者数	70	394	0	49	513	15	4,950	3,320	8,270
	団体数	4	11	0	4	19	27			
9	利用者数	84	63	0	33	180	13	5,680	800	6,480
	団体数	4	8	0	4	16	26			
10	利用者数	117	64	0	12	193	13	1,150	300	1,450
	団体数	5	7	0	1	13	26			
11	利用者数	198	222	0	33	453	17	3,220	2,740	5,960
	団体数	6	12	0	3	21	26			
12	利用者数	30	42	0	0	72	6	0	1,600	1,600
	団体数	1	5	0	0	6	24			
1	利用者数	0	141	0	12	153	10	1,150	2,700	3,850
	団体数	0	9	0	1	10	24			
2	利用者数	0	86	0	8	94	9	1,960	2,600	4,560
	団体数	0	9	0	1	10	24			
3	利用者数	90	85	0	41	216	14	5,890	2,480	8,370
	団体数	4	8	0	4	16	27			
合計	利用者数	1,086	1,789	30	444	3,349	158	48,270	21,900	70,170
	団体数	43	106	1	34	184	308			
前年度	利用者数	1,306	1,975	34	273	3,588	164	35,980	19,660	55,640
	団体数	47	107	1	28	183	308			

V 庶務事項

1. 組織

(1) 理事及び監事

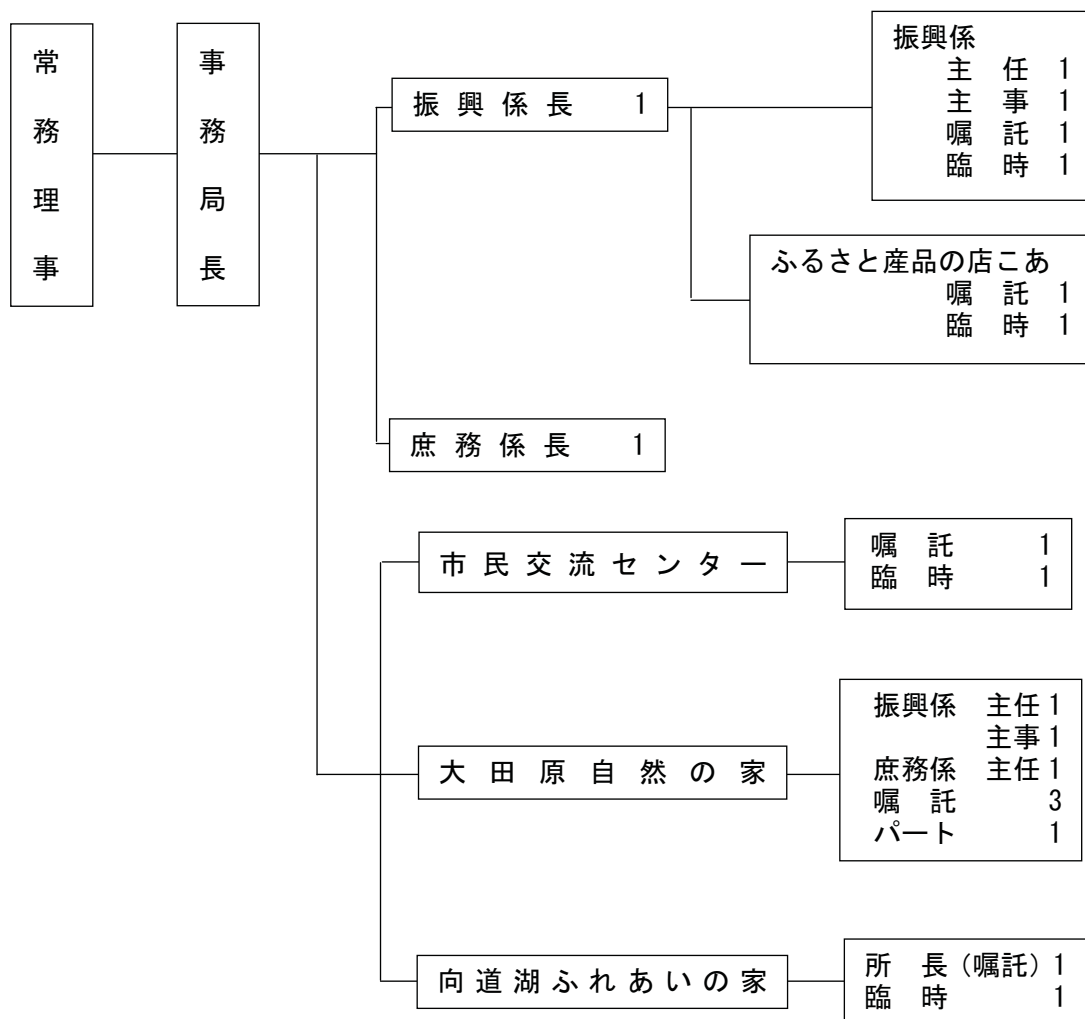
役職	氏名	就任年月日	退任年月日
理事長	木村健一郎	平成24年4月1日	
副理事長	小田敏雄	平成24年4月1日	
常務理事	市川琢治	平成24年4月1日	
理事	村田正樹	平成24年4月1日	平成26年2月27日
	宮本治郎	〃	
	澤田小恵子	〃	
	山田新悟	〃	
	守田平人	〃	
	松田富雄	〃	
	船崎美智子	〃	
	村川哲夫	〃	
	中村恒愛	〃	
	福原和子	〃	
	吉谷川亮	平成24年5月28日	
河村保彦	〃		
監事	西田了	平成24年4月1日	
	池部博正	〃	

(2) 評議員

役職	氏名	就任年月日	退任年月日
評議員	梶山正一	平成25年4月1日	平成25年5月30日
	岡本修二	〃	
	堀本明	〃	
	宮崎隆	〃	
	竹島弘	〃	
	広実優	〃	
	原田栄造	〃	
	秋貞啓子	〃	
	今田篤	〃	
	中村秀昭	〃	
	有吉一男	平成25年6月25日	



(3) 事業推進体制



2. 会議の開催

(1) 理事会

回	開催年月日・会場	議案
1	平成 25 年 6 月 7 日 周南市市民交流センター	① 平成 24 年度事業報告及び決算報告について ② 退職手当積立金及び退職手当給付準備積立金設置要綱の改正について ③ ふるさと振興基金設置要綱の改正について ④ 平成 25 年度補正予算について ⑤ 評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について
2	平成 26 年 2 月 19 日 周南市市民交流センター	① 平成 25 年度補正予算について ② 平成 26 年度事業計画書及び収支予算書等について ③ 評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について

(2) 評議員会

回	開催年月日・会場	議 案
1	平成 25 年 6 月 25 日 周南市市民交流センター	① 平成 24 年度事業報告及び決算報告について ② 平成 25 年度補正予算について ③ 評議員の選任について
2	平成 26 年 3 月 10 日 周南市市民交流センター	① 平成 25 年度補正予算について ② 平成 26 年度事業計画書及び収支予算書等について

3. 登記及び届出

(1) 登記

登記年月日	登 記 事 項	申 請 先
平成 25 年 4 月 1 日	平成 25 年 4 月 1 日 名称変更による移行	山口地方法務局
平成 25 年 7 月 9 日	平成 25 年 5 月 30 日 評議員の辞任 平成 25 年 6 月 25 日 評議員の就任	
平成 26 年 3 月 13 日	平成 26 年 2 月 27 日 理事の辞任	

(2) 行政庁への届け出、申請

年 月 日	届 け 出 ・ 申 請 事 項
平成 25 年 4 月 23 日	移行登記完了届
平成 25 年 7 月 30 日	変更届出書（評議員の変更）
平成 26 年 3 月 19 日	変更届出書（理事の変更）
平成 26 年 3 月 26 日	事業計画書等の提出